

B07 中級～ (TV 聴講あり)	<h1 style="margin: 0;">中国の特許調査</h1> <p style="margin: 0;">中国特許データベースの活用方法 (最新特許情報の入手法) 商用データベースの問題点と解決法</p>
講師	西尾 潤 (株)ユポ・コーポレーション 市場開発部
日程・場所	東京本会場 → TV会場：JPDS 名古屋、大阪、九州各営業所 4月22日(水) (中止) → 8月27日(木)、10月29日(木)
時間	1 日間 (10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	東京会場：24 名 // TV会場：各会場共 10 名 (先着順申し込み)
受講料 (税別)	本会場：20,000 円 (TV会場：16,000 円)
対象	特許調査担当の中級者 ※中国語の知識は不要。
内容	
<p>中国特許を調査する場合、通常、英語翻訳された商用英語データベースが使われますが、これだけでは、検索漏れが発生する可能性があります。漏れを減らすには、中国語での検索も併用する必要がありますが、一つの用語に多くの漢字表現がある等、中国語での検索は簡単ではありません。</p> <p>本講座では、中国語データベースを用い、中国語が理解できない方でも機械翻訳を利用することで中国語の技術用語を漏れなく抽出して検索する方法や、中国語の特許明細書を査読する方法について、中国特許調査の経験豊富な講師が分かり易く解説します。</p>	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国特許検索の実例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国特許データベース CNIPR ・ 中国特許収録データベース (有料・無料) 2. 中国特許データベースから得られる情報 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な特許データベースの仕様 ・ 特許収録状況 ・ 実案検索の要否 3. 中国語キーワードを使用した検索 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語キーワード検索の限界 ・ 中国原語キーワードの抽出方法 	<ol style="list-style-type: none"> 4. 中国特許文献の査読 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械翻訳の利用 ・ (旧) JPO 中韓翻訳・検索システムの活用 5. 中国語特許検索の応用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査情報の取得 ・ 特実以外の検索 ・ 台湾の検索

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- ・ 中国語に関する知識がなくても問題ありません。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、TV会場での聴講の場合には継続研修の認定対象外となります。